

機器接続マニュアル



機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

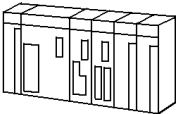



2.15 和泉電気(株)製 PLC

2.15.1 システム構成

和泉電気(株)製 PLC と GP を接続する場合のシステム構成を示します。

< 結線図 > は 2.15.2 結線図をご参照ください。

FA シリーズ (リンク I/F 使用)

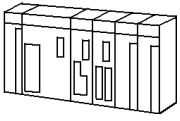


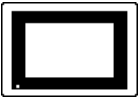
CPU	リンク I/F	結線図	使用可能ケーブル	GP
	シリアルインターフェイスモジュール 			
PF3S-CP12, PF3S-CP13	PF3S-SIF2	RS-232C < 結線図1 >	和泉電気(株)製 PF3S-KS1 ^{*1}	GPシリーズ
	PF3S-SIF4	RS-422 < 結線図2 >		

*1 GP-270、GP-370、GP-377、GP-377R、GP-2300 には、コネクタサイズのサイズ上使用できません。



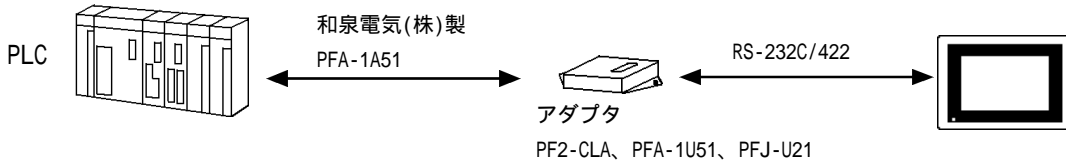
- PF3S-SIF2(4)は、電源投入後RUN状態になるまでメモリパックの容量が1Kステップ時は約1秒、4Kステップ時は約4秒かかるため、GPでスタートタイムの設定が必要です。使用するメモリパックにあわせてスタートタイムの設定を行ってください。参照 各GPシリーズユーザーズマニュアル「システム環境の設定」
- RS-422 と表記してあるところは、PLC側がRS-485の場合も使用できます。

FAシリーズ(CPU直結)

CPU ^{*1}	アダプタ ^{*2}	結線図	使用可能ケーブル	GP
				
PF2-CPU1, PF2-CPU5M, PF2J-CPU1, PF3S-CP11, PF3S-CP12, PF3S-CP13	PF2-CLA PFA-1U51	RS-232C <結線図3>	和泉電機(株)製 PFA-1A52形コンピ ュータケーブル ^{*3}	GPシリーズ
	PFJ-U21	RS-422 <結線図4>		

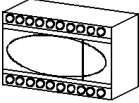


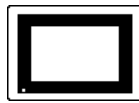
*1 プログラミングローダポートに接続します。

*2 プログラミングローダポートとアダプタとを和泉電気(株)製PFAリンクケーブルPFA-1A51(30cm)で接続する必要があります。



*3 GP-270、GP-370、GP-377、GP-377Rには、コネクタサイズのサイズ上使用できません。

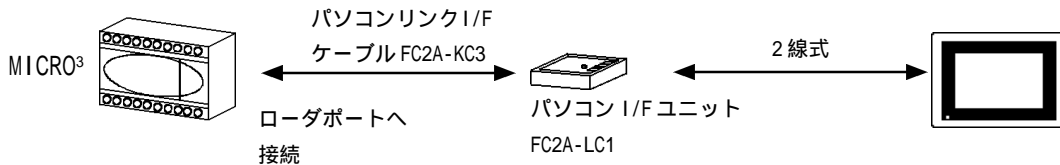
MICRO³(マイクロキューブ)(CPU直結)

CPU	アダプタ	結線図	使用可能ケーブル	GP
				
MICRO ³			パソコンリンクI/F ケーブル FC2A-KC1 ^{*4 *5}	GPシリーズ
	パソコンI/Fユニッ ト FC2A-LC1 ^{*6}	RS-422 <結線図5>		

*4 通信ケーブルは和泉電気(株)専用パソコンI/Fケーブルを使用してください。

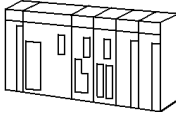


*5 パソコンI/FケーブルFC2A-KC1使用時には、GP側はRS-232C通信になります。

*6 パソコンI/FユニットFC2A-LC1とPLCを和泉電気(株)製パソコンリンクI/FケーブルFC2A-KC3で接続する必要があります。



・RS-422と表記してあるところは、PLC側がRS-485の場合も使用できます。

MICROSmart FC4A シリーズ (オールインワンタイプ)

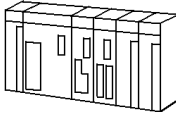


CPU	リンクI/F	結線図	使用可能ケーブル	GP/GLC
				
FC4A-C10R2B FC4A-C16R2B FC4A-C24R2B	CPUモジュール上の ポート1	RS-232C <結線図6>	和泉電気(株)製 FC2A-KP1C (2.4m) ^{*2}	GPまたは GLCシリーズ
	FC4A-PC1 (Mini DINタイプ) ^{*1}	RS-232C <結線図7>	FC4A-KP2C (5m) ^{*3}	
	FC4A-PC3 (端子タイプ) ^{*1}	RS-422 <結線図8>	/	
	FC4A-PC2 (Mini DINタイプ) ^{*1}	RS-422 <結線図9>	和泉電気(株)製 HG9Z-XC135	

*1 ポート2コネクタに接続します。

*2 本ケーブルはGP側をユーザ様で加工する必要があります。

*3 本ケーブルはGP側をユーザ様で加工する必要はありません。

MICROSmart FC4A シリーズ (スリムタイプ)

CPU	リンクI/F	結線図	使用可能ケーブル	GP/GLC
				
FC4A-D20K3 FC4A-D20S3 FC4A-D20RK1 FC4A-D20RS1 FC4A-D40K3 FC4A-D40S3	CPUモジュール上の ポート1	RS-232C <結線図6>	和泉電気(株)製 FC2A-KP1C (2.4m) ^{*2}	GPまたは GLCシリーズ
	FC4A-PC1 (Mini DINタイプ) ^{*4}	RS-232C <結線図7>	FC4A-KP2C (5m) ^{*3}	
	FC4A-PC3 (端子タイプ) ^{*4}	RS-422 <結線図8>	/	
	FC4A-PC2 (Mini DINタイプ) ^{*4}	RS-422 <結線図9>	和泉電気(株)製 HG9Z-XC135	
	FC4A-HPC1 (Mini DINタイプ) ^{*1}	RS-232C <結線図7>	和泉電気(株)製 FC2A-KP1C (2.4m) ^{*2}	
	FC4A-HPC2 (端子タイプ) ^{*1}	RS-422 <結線図8>	FC4A-KP2C (5m) ^{*3}	
	FC4A-HPC3 (Mini DINタイプ) ^{*1}	RS-422 <結線図9>	和泉電気(株)製 HG9Z-XC135	

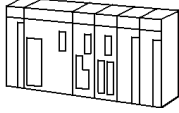



*1 ポート2コネクタに接続します。

*2 本ケーブルはGP側をユーザ様で加工する必要があります。

*3 本ケーブルはGP側をユーザ様で加工する必要はありません。

*4 HMI ベースモジュール(形番 FC4A-HPH1)が必要です。

オープンネットコントローラ FC3 シリーズ

CPU	リンク I/F	結線図	使用可能ケーブル	GP/GLC
				
FC3A-CP2K FC3A-CP2S	CPUモジュール上の RS-232Cポート1 CPUモジュール上の RS-232Cポート2	RS-232C <結線図7>	和泉電気(株)製 HG9Z-XCM12 (2m) FC2A-KP1C (2.4m) ^{*1} FC4A-KP2C (5m) ^{*2}	GPまたは GLCシリーズ
	CPUモジュール上の RS-485ポート	RS-422 <結線図10>		

*1 本ケーブルはGP側をユーザ様で加工する必要があります。

*2 本ケーブルはGP側をユーザ様で加工する必要はありません。

2.15.2 結線図

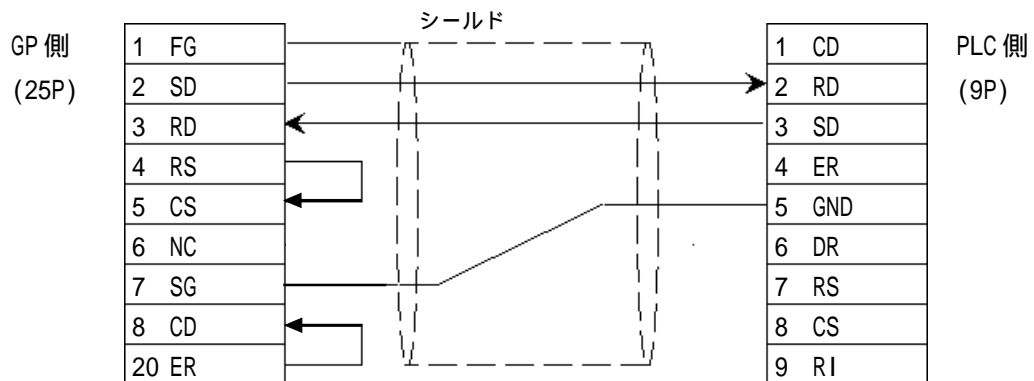
以下に示す結線図と和泉電気(株)の推奨する結線図が異なる場合がありますが、以下に示す結線図でも動作上問題はありません。

強制 ・ PLC本体のFG端子は、D種接地を行ってください。

- 重要** ・ シールド線へのFGの接続は、設置環境によってPLC側、GP側のどちらかを選択してください。(結線例はPLC側に接続した場合の図です)
- ・ 通信ケーブルを結線する場合は、必ずSGを接続してください。

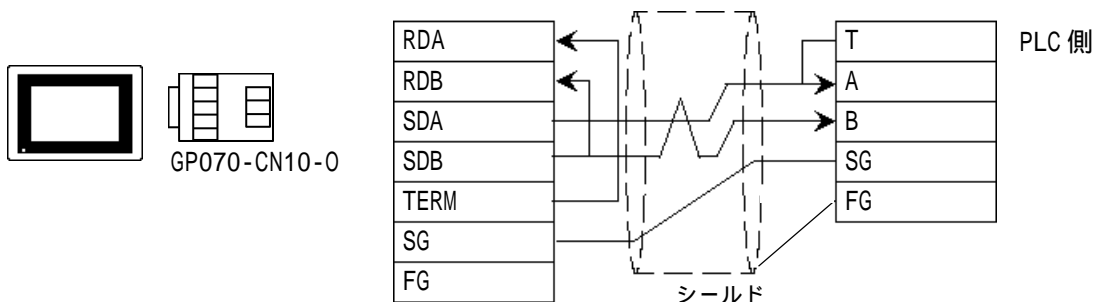
< 結線図 1 > RS-232C

- 重要** ・ ケーブル長は15m以内に行ってください。

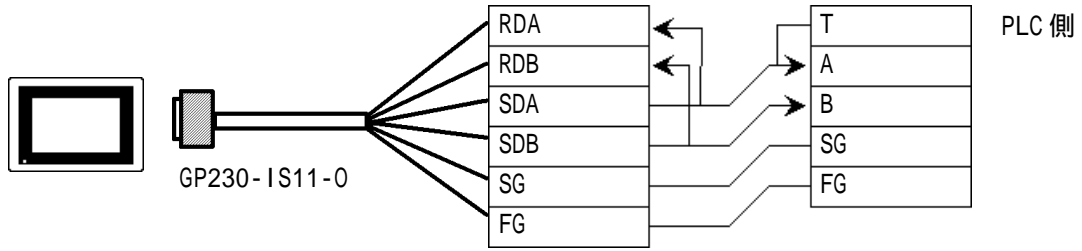


< 結線図 2 > RS-422

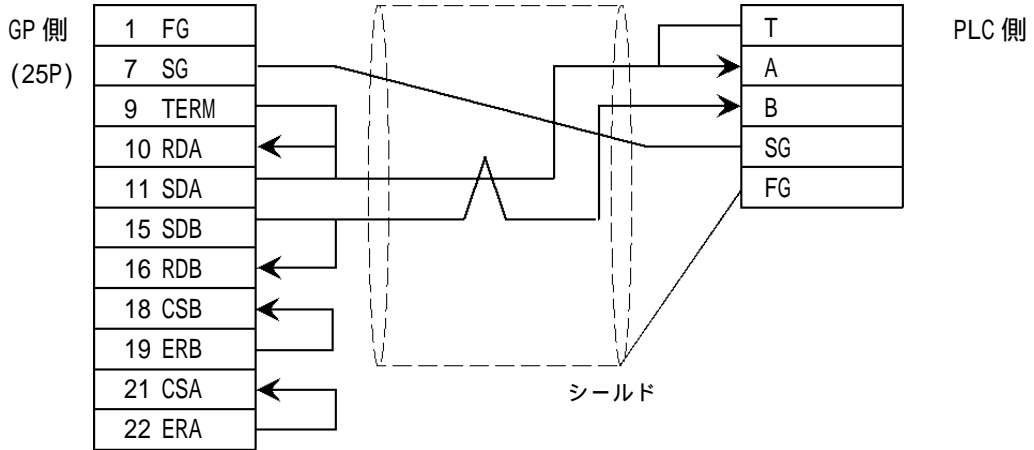
- ・ (株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



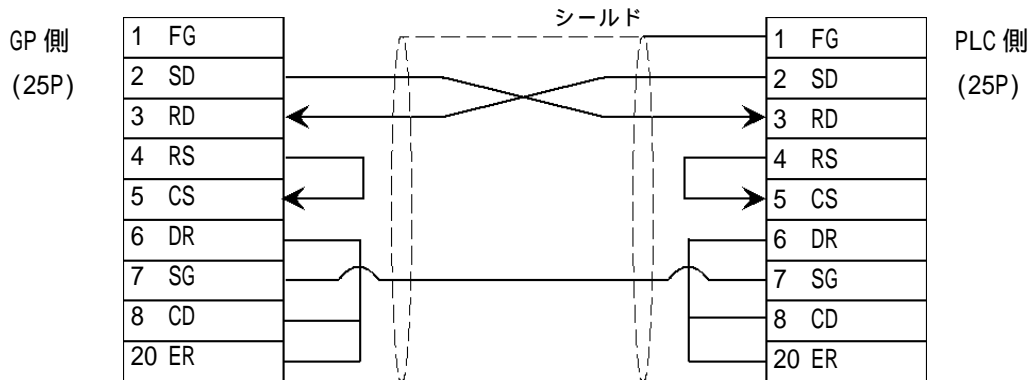
- ・ ケーブルを加工する場合



- ・ 接続ケーブルとして日立電線製 CO-SPEV-SB (A) 3P*0.5SQ ツイストペアケーブルを推奨します。
- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100Ωの終端抵抗が挿入されます。
- ・ ケーブル長につきましては和泉電気(株)のマニュアルを参照してください。

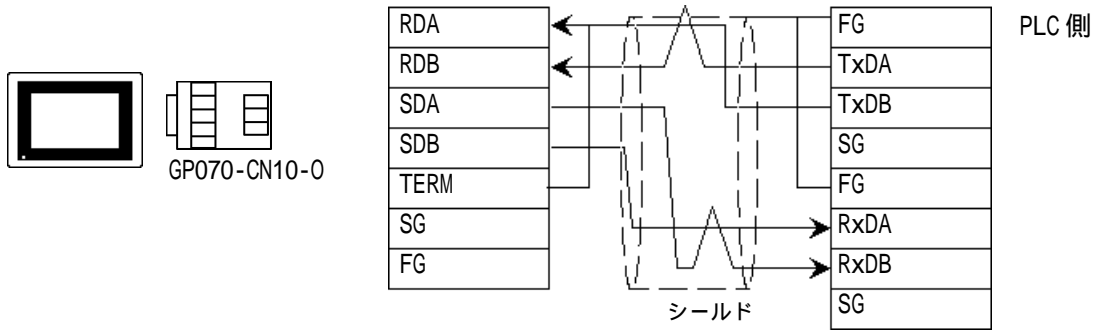
< 結線図 3 > RS-232C

- 重要** ・ ケーブル長は15m以内になしてください。

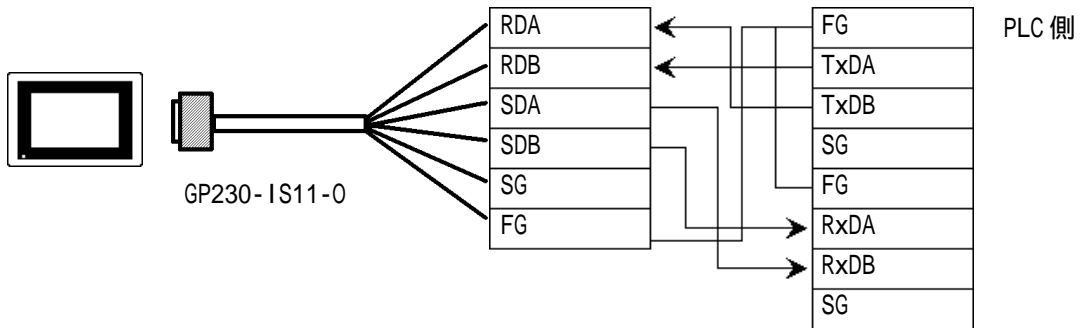


< 結線図 4 > RS-422

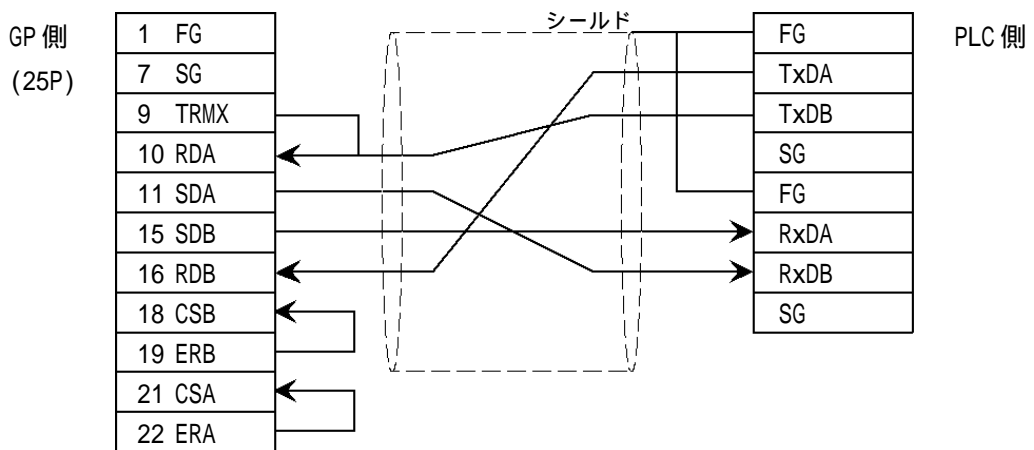
- ・ (株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



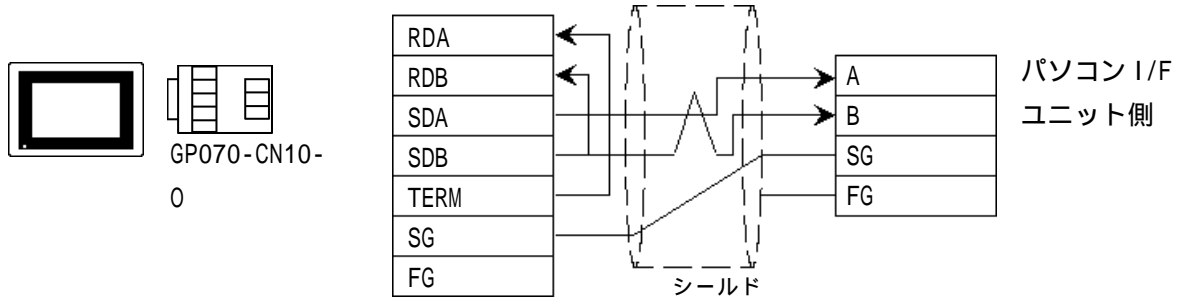
- ・ ケーブルを加工する場合



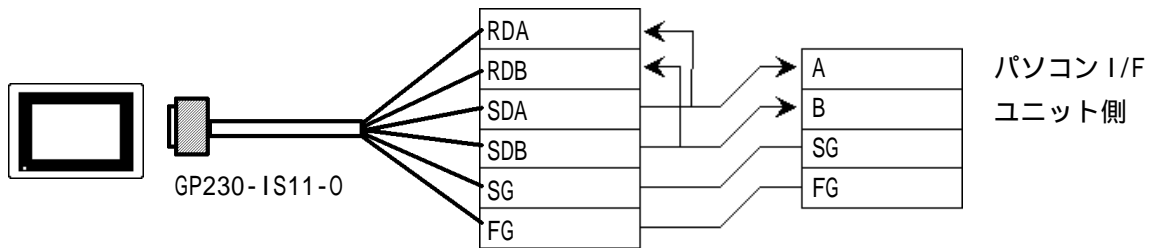
- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100Ωの終端抵抗が挿入されます。
- ・ ケーブル長につきましては和泉電気(株)のマニュアルを参照してください。

< 結線図 5 > RS-422

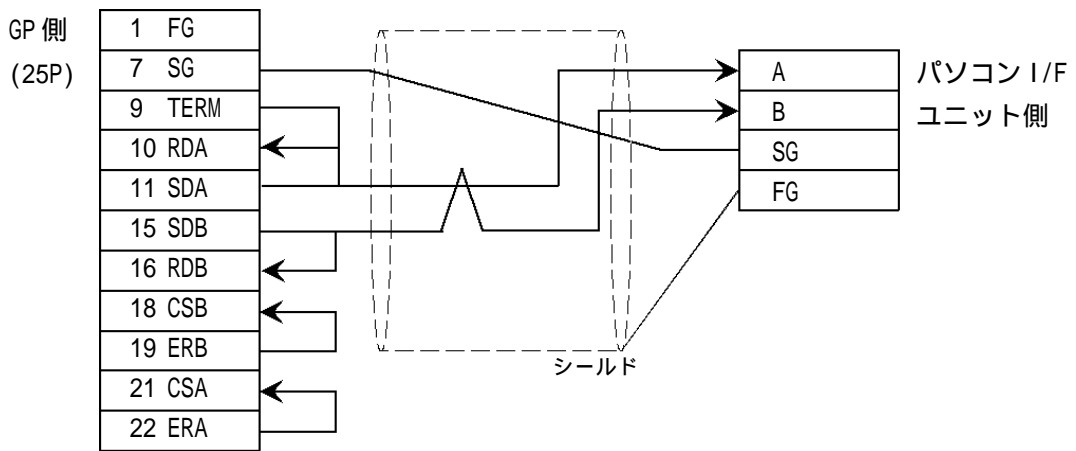
- ・ (株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



- ・ ケーブルを加工する場合



- ・ GP 側シリアル I/F の 9 番ピンと 10 番ピンを接続することにより、RDA-RDB 間に 100 の終端抵抗が挿入されます。
- ・ ケーブル長につきましては和泉電気(株)のマニュアルを参照してください。

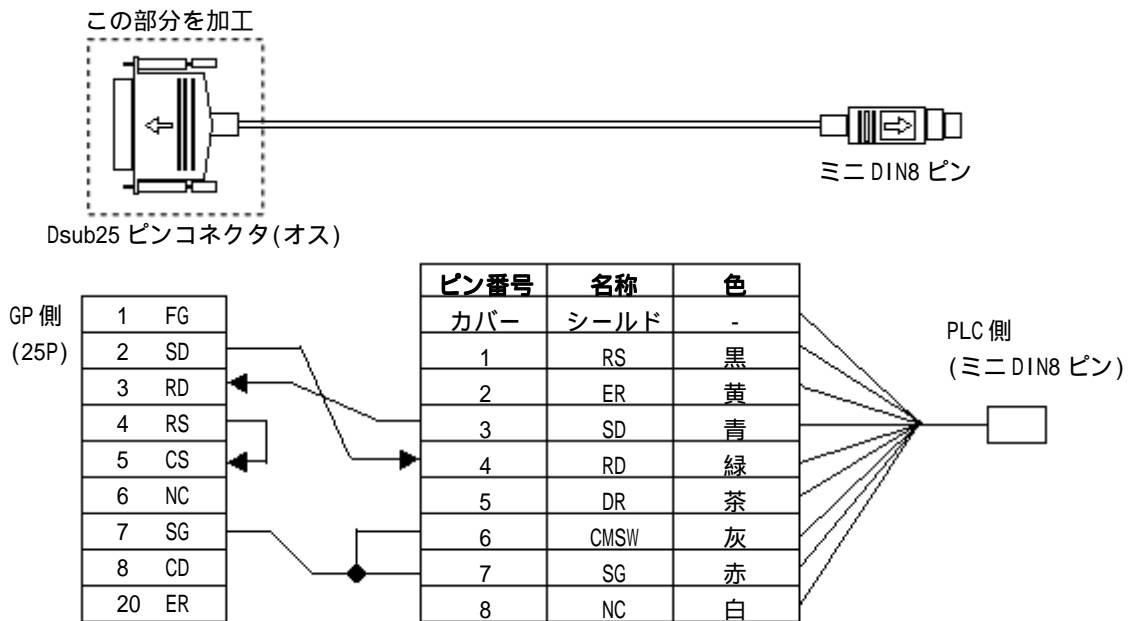
< 結線図 6 > RS-232C

重要

- ・ RS-232C 接続の場合は、和泉電気(株)製のケーブルをご使用ください。
- ・ 5mを超えて接続する場合には、RS-422接続にて対応してください。参照 < 結線図 8 >

- ・和泉電気(株)製通信ケーブル(型番:FC2A-KP1C)を使用する場合

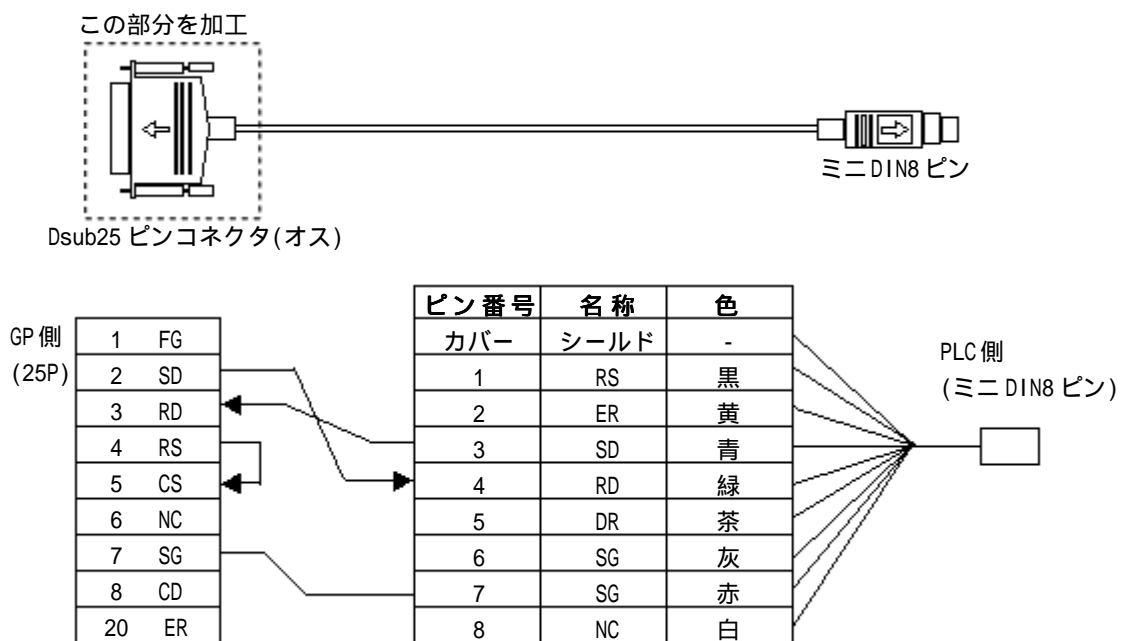
GP 側をユーザ様で加工する必要があります。Dsub25 ピンコネクタ(オス)を下図の通り通信ケーブルと接続してください。



< 結線図 7 > RS-232C

- 重要**
- ・ RS-232C 接続の場合は、和泉電気(株)製のケーブルをご使用ください。
 - ・ 5mを超えて接続する場合には、RS-422接続にて対応してください。参照 MICROS_{mart} FC4A シリーズ< 結線図 8 >、オープンネットコントローラ FC3 シリーズ< 結線図 10 >

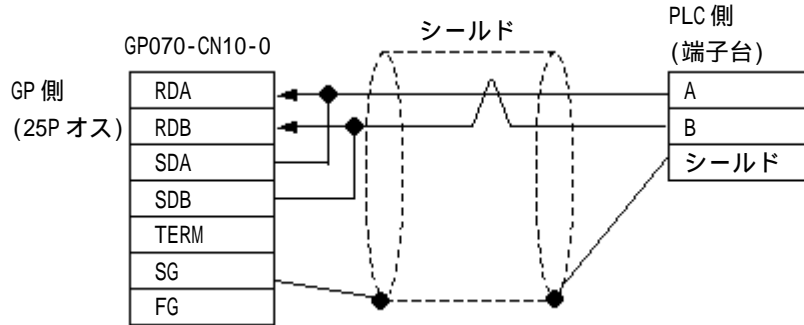
- ・ 和泉電気(株)製通信ケーブル(型番:FC2A-KP1C)を使用する場合
GP 側をユーザ様で加工する必要があります。Dsub25 ピンコネクタ(オス)を下図の通り通信ケーブルと接続してください。



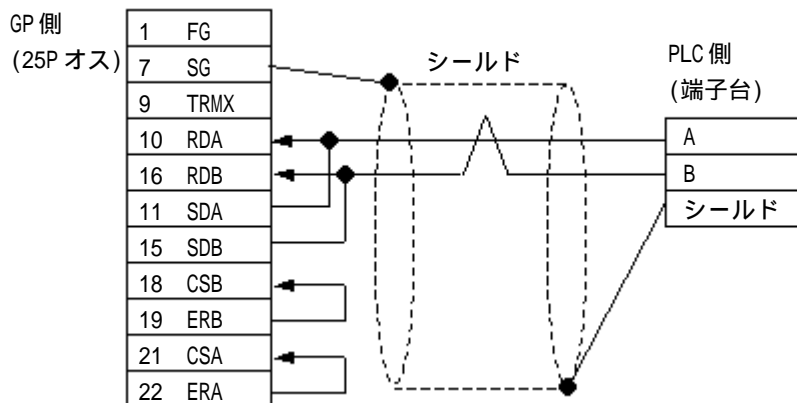
< 結線図 8 > RS-422 (2線式)

- 重要**
- ・ MICROSmart の RS-485 通信ボード FC4A-PC3(端子台タイプ)用ケーブル：断面積 0.3mm の 2 芯 1 対ツイストペアケーブル
 - ・ ケーブル長は 200m 以内にしてください。
 - ・ 終端抵抗は接続しないでください。接続した場合は正常に動作しない場合があります。

・(株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



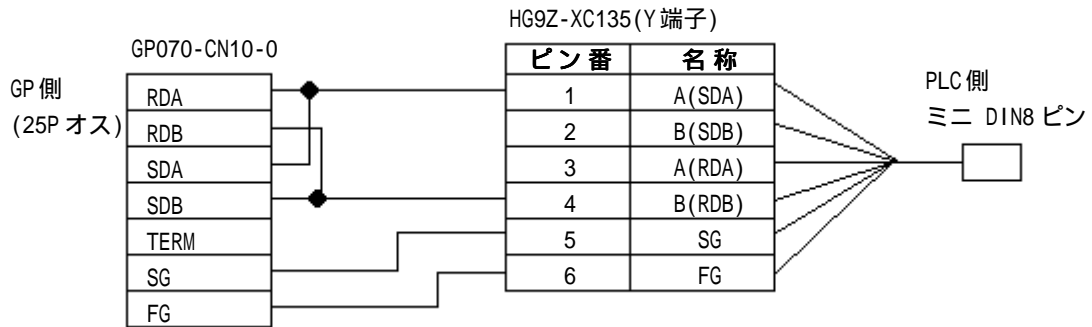
・ケーブルを加工する場合



< 結線図 9 > RS-422 (2線式)

重要 ・ 終端抵抗は接続しないでください。接続した場合は正常に動作しない場合があります。

・ 和泉電気(株)製ケーブルHG9Z-XC135を使用する場合

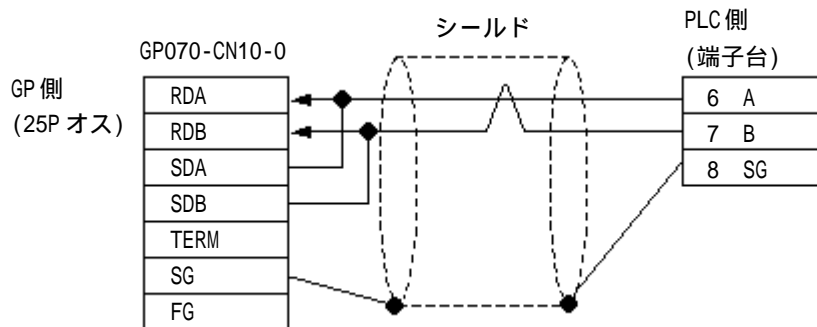


MEMO ・ PLC側の1番ピンと3番ピン、2番ピンと4番ピンは内部で接続されています。
 ・ HG9Z-XC135端子2、3は使用しません。絶縁テープなどでマスキングしてください。

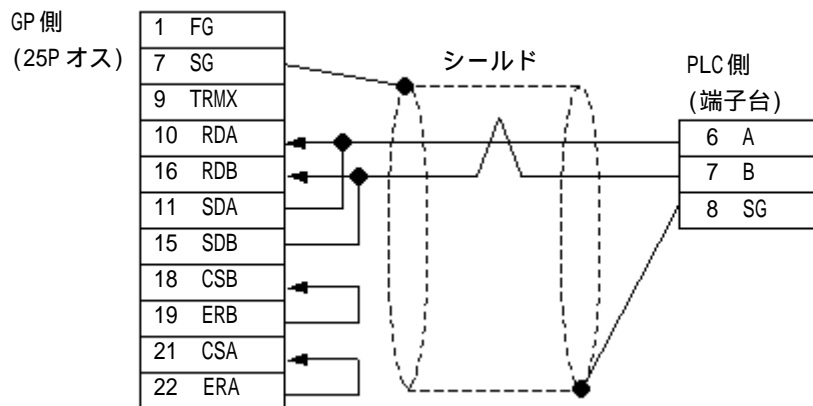
< 結線図 10 > RS-422 (2線式)

重要

- ・ オープンネットコントローラのRS-485ポート推奨ケーブル:
0.9シールド付きツイストペア線 (例:日本電線工業 CPEV-NC-SB1P)
 - ・ ケーブル長は200m以内にしてください。
 - ・ 終端抵抗は接続しないでください。接続した場合は正常に動作しない場合があります。
- ・(株)デジタル製RS-422コネクタ端子台変換アダプタGP070-CN10-0を使用する場合



・ケーブルを加工する場合



2.15.3 使用可能デバイス

GP でサポートしているデバイスの範囲を示します。

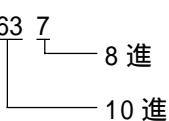
FA シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

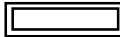
デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X000 ~ X637	WX00 ~ WX63	÷ 2 L/H
出力リレー	Y000 ~ Y637	WY000 ~ WY63	÷ 2
内部リレー	M000 ~ M2557	WM000 ~ WM255	÷ 2
シフトレジスタ	R000 ~ R223	WR000 ~ WR223	÷ 16
タイマ(接点)	T000 ~ T255	—————	*1
タイマ10msec(接点)	H000 ~ H079	—————	*1
カウンタ(接点)	C000 ~ C255	—————	*1
タイマ(設定値)	—————	TS000 ~ TS255	
タイマ(現在値)	—————	T000 ~ T255	*1
タイマ10msec(現在値)	—————	H000 ~ H079	*1
カウンタ(設定値)	—————	CS000 ~ CS255	
カウンタ(現在値)	—————	C000 ~ C255	*1
データレジスタ	—————	D0000 ~ D2989	Bit 15
コントロールレジスタ	—————	D3000 ~ D3071	Bit 15

*1 データの書き込みはできません。

強制 ・ 入力リレー、出力リレー、内部リレーのビットアドレスの入力は10進8進で行ってください。

<例> X63 7


その他のデバイスは、10進で設定してください。

MICRO³ (マイクロキューブ)
 は、システムエリアに指定可能

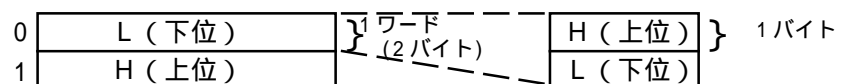
デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	L/H
入力リレー	x0000 ~ x00037	X0000 ~ X0002		
出力リレー	y0000 ~ y00037	Y0000 ~ Y0002		
内部リレー	m0000 ~ m00277	M0000 ~ M0026		
シフトレジスタ	r0000 ~ r0063	R0000 ~ R0048		
タイマ(接点)	T0000 ~ T0031	—————	*1*2	
カウンタ(接点)	C0000 ~ C0031	—————	*1*2	
タイマ(設定値)	—————	T0000 ~ T0031	*2	
タイマ(計数值)	—————	t0000 ~ t0031	*2	
カウンタ(設定値)	—————	C0000 ~ C0031	*2	
カウンタ(計数值)	—————	c0000 ~ c0031	*2	
データレジスタ	—————	D0000 ~ D0099		

*1 データの書き込みはできません。

*2 タイマ、カウンタは合計で32点まで使用できます。




- 入出力リレーの範囲は、基本ユニットの入出力点数に依存します。
- ビットアドレスのあるデバイス(入力リレー、出力リレー、内部リレー、シフトレジスタ)のアドレスの上下関係は、次のとおりです。











- 強制** ・ 入力リレー、出力リレー、内部リレーのビットアドレスの入力は10進8進で行ってください。

<例> 「m0002 7」
 10進 ——— 8進

MICROSmart FC4A シリーズ

 システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力	X0000 ~ X0307	X000 ~ X030	 *1 *4
出力	Y0000 ~ Y0307	Y000 ~ Y030	 *1 *4
内部リレー	M0000 ~ M1277	M000 ~ M126	
特殊内部リレー	M8000 ~ M8157	M800 ~ M814	
シフトレジスタ	R0000 ~ R0127	R0000 ~ R0112	
タイマ(接点)	T0000 ~ T0099	—————	*1 *2
カウンタ(接点)	C0000 ~ C0099	—————	*1 *2
タイマ(設定値)	—————	T0000 ~ T0099	
タイマ(計数値)	—————	t 0000 ~ t 0099	
カウンタ(設定値)	—————	C0000 ~ C0099	
カウンタ(計数値)	—————	c0000 ~ c0099	
データレジスタ	—————	D0000 ~ D1299	
特殊データレジスタ	—————	D8000 ~ D8199	
拡張データレジスタ	—————	D2000 ~ D7999	 *4
タイマ/カウンタ 設定値確定	—————	Q0 *3	—


*1 データの書込みはできません。

*2 書き込みされると、上位通信エラー(02:FB)が表示します。

*3 Q0は仮想デバイスです。タイマ/カウンタ設定値を不揮発性メモリへ書込むための専用デバイスです。Q0に任意なデータを書込むことで、変更を行ったタイマ/カウンタの設定値内容を不揮発性メモリに書込みます。不揮発性メモリへの書き込みは、RAMバックアップのバッテリー充電切れなどでデータが消えるのを防ぐ場合などにご使用ください。ただし、不揮発性メモリへの書込みを行うとラダーのスキャンタイムが延びるため、タイマ/カウンタの設定値変更時に毎回このデバイスの書込みを行わないように注意してください。また、このデバイスは読出しできません。

*4 各デバイスの使用範囲はご使用のCPUによって異なります。ご使用になれる前に各CPUのマニュアルでご確認ください。

オープンネットコントローラ FC3 シリーズ

 システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
入力	X0000 ~ X0597	X000 ~ X058	 2 ^{*1}	
出力	Y0000 ~ Y0597	Y000 ~ Y058	 2	
内部リレー	M0000 ~ M2557	M000 ~ M254	 2	
特殊内部リレー	M8000 ~ M8237	M800 ~ M822	 2	
シフトレジスタ	R0000 ~ R0255	R0000 ~ R0240	 16	
タイマ(接点)	T0000 ~ T0255	—————	^{*1} ^{*2}	
カウンタ(接点)	C0000 ~ C0255	—————	^{*1} ^{*2}	
タイマ(設定値)	—————	T0000 ~ T0255	L/H	
タイマ(計数値)	—————	t 0000 ~ t0255		
カウンタ(設定値)	—————	C0000 ~ C0255		
カウンタ(計数値)	—————	c0000 ~ c0255		
データレジスタ	—————	D0000 ~ D7999		 15
特殊データレジスタ	—————	D8000 ~ D8999		 15
リンクレジスタ	—————	L0100 ~ L1317		 15 ^{*3}

*1 データの書込みはできません。

*2 書きこみされると、上位通信エラー(02:FB)が表示します。

*3 リンクレジスタLデバイスの制限

作画ソフトでは、ワードアドレスの下1桁目が10進数で0～9まで入力できますが、PLCのアドレスは0～7までしか使用できません。また、L0728～L0999の範囲を設定することができますが、PLC側で存在しない範囲のため使用はできません。タグの設定では、以下の設定に注意してください。

A) 読出しの場合

タグで存在しないアドレスを設定するか、もしくは存在しないアドレスを含んだ読み出しを行った場合は、GPで「上位通信エラー(02:06)」の通信エラーが表示されます。

例: NタグでワードアドレスL0108を設定した場合。

SタグでワードアドレスL0100を設定し、表示文字数を20文字にした場合。

B) 書込みの場合

タグで存在しないアドレスを設定するか、もしくは40ワードを超えるブロック書込みを行った場合は、GPで「上位通信エラー(02:06)」の通信エラーが表示されます。

例: TタグでワードアドレスL0108を設定した場合。

Dスクリプトのメモリコピー機能でコピー先ワードアドレスをL0100に設定し、アドレス数を41に設定した場合。

C) タグの複数コピーをする場合

タグの複数コピーを行った場合、コピー数により存在しないアドレスが設定される場合がありますので設定後のアドレスの確認をしてください。

例: NタグでワードアドレスL0100を設定し、複数コピーでコピー数10とした場合、L0100～L0109までのアドレスが設定されます。この場合、L0108とL0109が範囲外の設定となります。

参照 リンクレジスタの使用可能なアドレス範囲及び詳細につきましては、和泉電気(株)製オープンネットコントローラFC3シリーズインストラクションマニュアルを参照してください。

2.15.4 環境設定例

(株)デジタルが推奨するPLC側の通信設定と、それに対応するGP側の通信設定を示します。

FAシリーズ(シリアルインターフェイスモジュール使用の場合)

GPの設定		シリアルインターフェイスモジュールの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit	データビット	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	_____	
通信方式 (RS-422使用時)	2線式	_____	
号機No.	0	デバイス番号	0

FAシリーズ(CPU直結の場合)

GPの設定		PLC側の設定	
伝送速度	9600bps	伝送速度	9600bps
データ長	8bit	データビット	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	_____	
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	_____	
号機No.	0	デバイス番号	0

MICRO³ (マイクロキューブ)

GPの設定		ローダポートの設定	
伝送速度	9600bps	伝送速度	9600bps
データ長	7bit	データビット	7bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式 (パソコンリンクI/F ケーブルFC2A-KC1 使用時)	RS-232C	_____	
通信方式 (RS-422使用時)	2線式	_____	
号機No.	0	局番	0



- ・ 上記のPLC側の設定は、基本設定モードの設定と同じです。GPやローダと接続する場合は、基本設定モード(モード切替入力番号の端子がOFFの状態)で通信できます。通信設定を変更するときは、任意設定モード(モード切り替え入力番号の端子がONの状態)にしてください。

MICROSmart FC4A シリーズ

GPまたはGLCの設定		PLCの設定	
伝送速度	9600 bps	ポート通信速度	9600 bps
データ長	7 bit	データ長	7 bit
ストップビット	1 bit	ストップビット	1 bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	_____
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	_____	_____
通信方式 (RS-485使用時)	2線式	_____	_____
号機番号	0	通信デバイス番号	0
_____	_____	ポートの通信種類	メンテナンス通信
_____	_____	通信切替入力	設定なし

オープンネットコントローラ FC3 シリーズ

GPまたはGLCの設定		PLCの設定	
伝送速度	9600 bps	ポート通信速度	9600 bps
データ長	7 bit	データ長	7 bit
ストップビット	1 bit	ストップビット	1 bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御		_____
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C		_____
通信方式 (RS-485使用時)	2線式		_____
号機番号	0	通信デバイス番号 DIP-SW4~8	0
_____	_____	RS-485通信モード DIP-SW1	OFF (メンテナンス)
_____	_____	RS-232Cポート1通信モード DIP-SW2	OFF (メンテナンス)
_____	_____	RS-232Cポート2通信モード DIP-SW3	OFF (メンテナンス)
_____	_____	通信切替入力	設定なし

モニタ登録の設定

オープンネット FC3シリーズを使用する場合、モニタ登録機能を使用することができます。この機能を使用することによって、画面上の不連続アドレスを一括(最大40ワード)で読出すことができます。マルチポート接続やパソコンと一緒に接続した時などにもこの機能が使えます。GPのオフラインモードの「動作環境の設定」画面、または、画面作成ソフト(GP-PRO/PB for Windows)の「GPシステムの設定」の「モード設定」でモニタ登録の設定を行ってください。
参照 オフラインモードについては、各GPユーザズマニュアル オフラインモードをご参照ください。



- ・ MICROSmart FC4A シリーズはモニタ登録機能は使用できません。必ず「無」の設定にしてください。モニタ登録の設定を「有」にして通信した場合は、上位通信エラー(02:03)となります。
参照 本マニュアル 2.15.4 エラーコード
- ・ デフォルトは「無」の設定になっています。
- ・ GP機種によって「動作環境の設定」画面は異なります。下図を参照してモニタ登録の設定を行ってください。

<GPH70/GP-270/GP-370/GLC100 シリーズ>

動作環境の設定		設定	取消
システムエリア	先頭デバイス	<input type="text"/>	
	先頭アドレス	<input type="text"/>	
	号機No.	<input type="text"/>	
システムエリア	読み込みエリアサイズ	<input type="text"/>	
	モニタ登録	<input type="button" value="無"/>	

<GP-470/GP-570/GP-675/GP-870 シリーズ>

動作環境の設定			
システムエリア	先頭アドレス	[]
	号機No.	[]
システムエリア	読み込みエリアサイズ (0-256)	[]
	モニタ登録	無	有

<GP-377/GP-377R/GP-2300/GLC-2300 シリーズ>

動作環境メニュー画面で、「動作環境の設定2」をタッチして「動作環境の設定2」画面でモニタ登録の設定を行ってください。

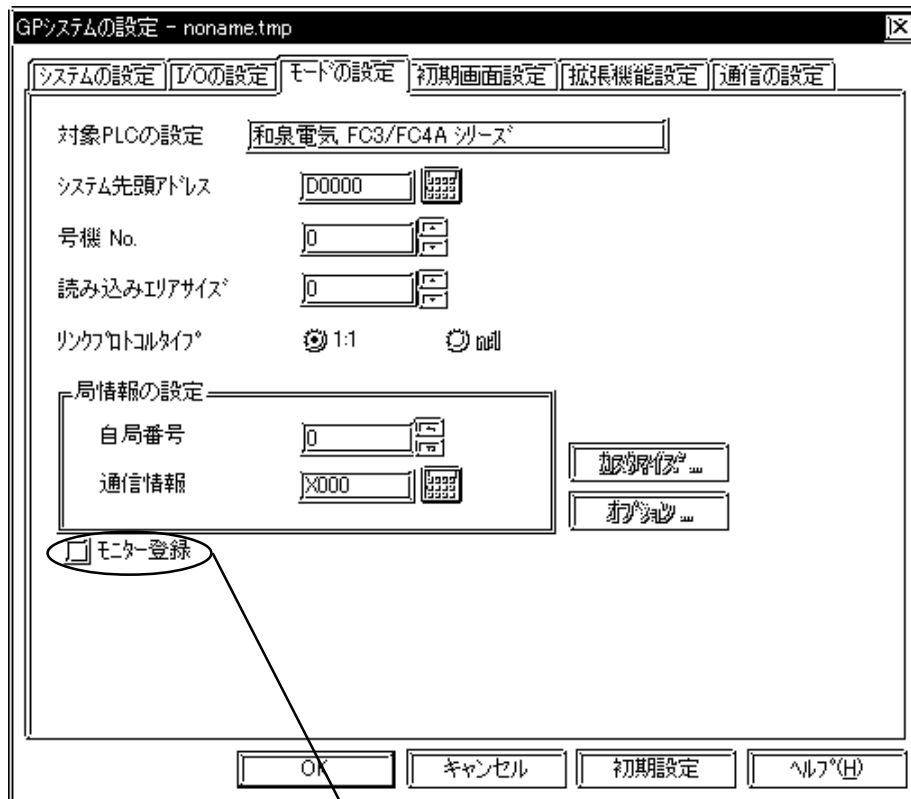
メイン / 初期設定 / 動作環境 メニュー
動作環境の設定1
動作環境の設定2

動作環境の設定2	設定	取消
モニタ登録	無	

<GP-477R/GP-577R/GP-2000/GLC300/GLC2000 シリーズ>

動作環境の設定		
システムエリア先頭アドレス	[]
号機No.	[]
システムエリア 読み込みエリアサイズ (0-256)	[]
書き込みエラー時のGPリセット	無	有
モニタ登録	無	有

- ・画面作成ソフト(GP-PRO/PB for Windows)での設定
「GPシステムの設定」の「モード設定」でモニタ登録をの設定を行います。デフォルトはモニタ登録なしです。



ここでモニタ登録の設定を行います。

2.15.5 エラーコード

PLC 特有のエラーコード

MICROSmart FC4A シリーズ / オープンネットコントローラ FC3 シリーズ

PLC 特有のエラーコードは通信エラーコードと NG コードの 2 種類あります。通信エラーは伝送手順の途中で発生したエラーを表しています。NG エラーはリクエストメッセージ処理後に発生したエラーを表し、NG コードは基本ユニットに対するエラーコードとなります。通信エラーコード、NG エラーコードは GP の画面左下に「上位通信エラー (02:**)」のように表示されます。(** は PLC 特有のエラーコードです。)

・通信エラーコード

エラーコード	エラー名称	説明
00	BCCエラー	付加されたBCCコードと受信データのBCC計算値が不一致
01	フレームエラー	受信したビット数が設定と異なります。 (ストップビットが“0”)
02	データ送受信エラー	パリティエラー、オーバーランエラーなどが発生しました。
03	コマンドエラー	サポートしていないリクエストメッセージを受信しました。
04	手順/データ数エラー	待ち状態(データ数を含む)と一致しないリクエストメッセージを受信しました。

・NG コード

エラーコード	エラー名称	説明
06	データ範囲エラー	指定したデータの範囲が不適当です。
07	タイマ/カウンタ設定値変更エラー	間接指定(DR)に対して設定値を変更しようとした。
10	データエラー	“0”(30h)～“9”(39h)、“A”(40h)～“F”(45h)以外のデータがありました。
11	設定エラー (オープンネットコントローラ)	テーブル番号が不適当(オペランド登録コマンド用)
		テーブル番号登録未設定(オペランド登録モニタコマンド用)

参照 エラーコードの詳細は、和泉電気(株)製「MICRO³ パソコンリンクシステム ユーザーズマニュアル」を参照してください。

MEMO

このページは、空白です。
ご自由にお使いください。

